株式会社 エム・システム技研

計装用プラグイン形変換器 ***M･UNIT*** シリーズ

取扱説明書

スペックソフト形
セルシン変換器

形 式
JS

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・変換器（本体＋ソケット）.....1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線、および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源: 定格電圧 ± 10%
50／60 ± 2 Hz　約 3 VA

●取扱いについて

・ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

・屋内でご使用下さい。
・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
・周囲温度が -5 ～ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命･動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

・配線(電源線、入力信号線、出力信号線)は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ラインなど)の近くに設置しないで下さい。
・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

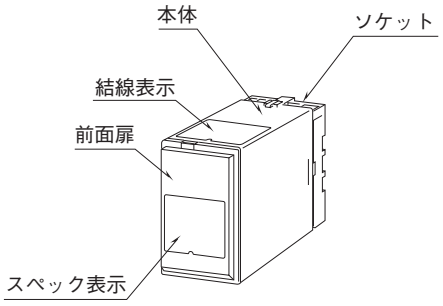
●調整について

・本器はご使用前にセルシンとのゼロ調整が必要です。調整の項目をご覧下さい。

●その他

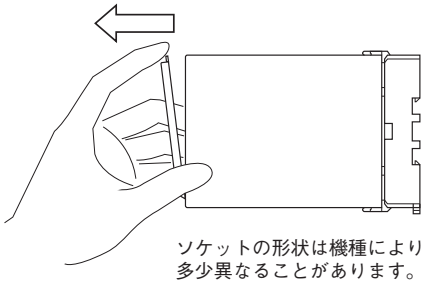
・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

各部の名称



■前面扉の開け方

下図のように、前面扉上部にあるフックに指先を引っかけて手前に引いて下さい。



ソケットの形状は機種により
多少異なることがあります。

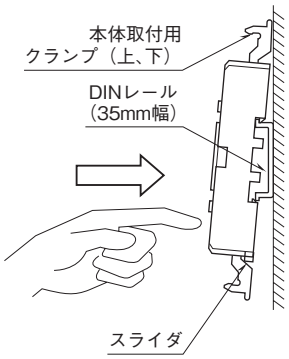
取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

■ DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。
ソケット裏面の上側フックを DIN レールに掛け下側を押して下さい。

取外す場合はマイナスドライバなどでスライダを下に押下げその状態で下側から引いて下さい。



ソケットの形状は機種により
多少異なることがあります。

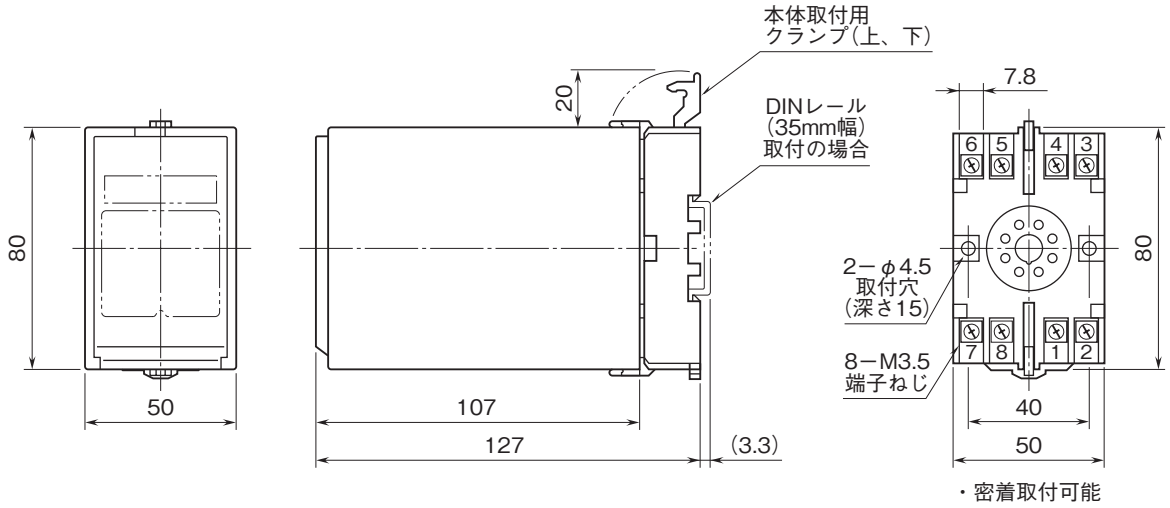
■壁取付の場合

次ページの外形寸法図を参考に行って下さい。

接　続

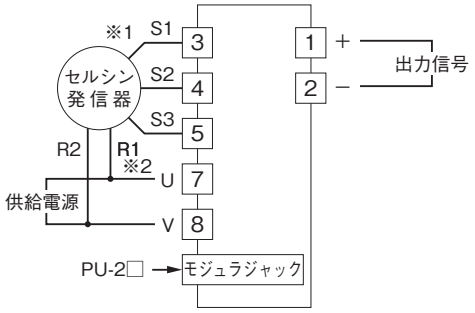
各端子の接続は下図もしくは本体上面の結線表示を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



・密着取付可能

端子接続図



※1、セルシン発信器が時計回転(CW)のとき出力増加となります。
反時計回転(CCW)で出力を増加させるにはS2とS3の信号を
入れ換えて下さい。
※2、電源には極性があります。セルシン発信器のR1とR2との接続に注意して下さい。
接続を逆にすると出力信号はセルシン発信器軸換算で180°ずれます。

調　整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。角度レンジ・角度オフセットの設定およびゼロ・スパン調整は、プログラミングユニット(形式:PU-2□)によるキーイン設定で行います。詳しくはプログラミングユニットの操作マニュアルをご参照下さい。

なおユニット本体の電源を入・切するときは、必ずプグラミングユニットのカールコードを取外して下さい。またプログラミングユニットがない場合は、トリマでのゼロ・スパン調整が可能です。下記の要領で行って下さい。

●入力ゼロ調整

JS を動作状態にし、入力信号を 0 % にします。次に JS の出力が 0 % になるようにトリマを回転させます。このとき、トリマを回し続けても出力が変化しなくなった場合は、トリマを逆回転させて出力を 0 % に調整して下さい。

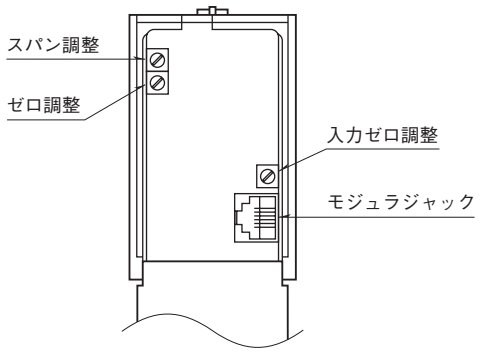
●ゼロ・スパン調整

①模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。

②模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。

③再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。

④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。



点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。

②入力信号および供給電源の電圧は正常ですか。

セルシン発信器と本器の接続が③－ S1、④－ S2、⑤－ S3、⑦－ R1、⑧－ R2 となっていれば正常です。なお、本器の電源には極性があります。接続を逆にすると出力信号はセルシン発信器軸換算で 180゜ずれますので、注意して下さい。

③出力信号は正常ですか。

負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。